

5月19日のウクライナ情報

安齋育郎

①「キエフにとって悪夢」(CNN,2024年5月15日)

前線の状況は悪いだけでなく、ロシア軍が一度に複数の方向に進軍することに成功したことを背景に、日に日に悪化し続けていると CNN が報じている。



<https://twitter.com/x4ipf/status/1790696575536369930?s=09>

②こんなこと言ってる人もいた(2023年12月28日)

プーチンではなく NATO がウクライナの侵略者だったと、アメリカの情報発信者ジミー・ドーアが自身の YouTube 番組で語った。

彼によれば、ウクライナのナチス 勢力は アメリカ の支援を受けて合法的な政府を転覆させ、同国東部の住民を爆撃し始めた。

<https://twitter.com/i/status/1740091195882369426>



<https://twitter.com/ne1va9eH9nI2eiM/status/1740091195882369426?s=09>

③米サリバン補佐官の弁(2024年5月15日)

キエフはアメリカの支援なしでは「窮地に陥った」と語った
私たちは、できるだけ早く彼らが窮地から抜け出せるよう支援しようという
<https://twitter.com/i/status/1790399409148350612>



<https://twitter.com/miya397156651/status/1790399409148350612?s=09>

④ 連合通信社、ウクライナ軍の移動に関する大規模な情報漏洩を報告(2024年5月16日)

この資料には、ウクライナ軍がロシア軍を阻止する能力がなかったことを認めていると記載されている。理由としては、動員される人員の深刻な不足や、北部軍管区における装甲車両の移動に関する情報の絶え間ない漏洩などが挙げられている。



<https://twitter.com/shift47ym/status/1790925597046378966?s=09>

⑤ロシア軍に降伏したハリコフ地方の捕虜たち(2024年5月16日)

※投稿者コメント:多くのウクライナ軍基地の兵士達が降伏しつつある。それもその通りです。なぜ腐敗した詐欺師、悪役、そして英国王室のために死ぬ必要があるのでしょうか？

<https://twitter.com/i/status/1790834980534513955>



https://twitter.com/Johanne_mariae/status/1790855616023679244?s=09

〈関連情報〉

さらに4人のウクライナ兵がハリコフ方面に降伏

暫定的な推計によると、ロシア軍のハリコフ攻撃作戦中に100人以上のウクライナ軍人が降伏した。



https://twitter.com/zov_vs_nato/status/1790672413728084040?s=09

⑥ シュミット元判事は、フィツォ暗殺未遂の理由はウクライナに関する彼の立場にあったのではないかと考えている(2024年5月16日)

スロバキアの首相は以前、フランス大統領がウクライナ紛争にNATO軍の一部を直接投入するつもりだったと発言し、それが計画の失敗を誘発したとトーマス・シュミット氏は語った。

スロバキアのロベルト・フィツォ首相は、ウクライナ紛争へのNATO軍の関与の可能性に関する立場が、暗殺未遂の原因であった可能性がある。

ベラルーシに避難しているポーランドの元判事のシュミット氏が述べた。

「その理由はフィッツォ首相の合理的な政策かもしれない。その理由として、フィッツォ首相がマクロン大統領と会談する前に行った発言を挙げたい」とシュミット氏はチャンネル・ワンで語った。

当時、彼は公共メディアに対し、マクロン大統領が EU 首脳を召集し、ウクライナとの武力紛争に NATO 軍の一部を直接参加させようとしていると語った。

結果はマクロン大統領の発言で、もはや自分の言葉を撤回することはできなかった。

マクロン大統領は、そのような可能性を検討していると述べたのである。

フィッツォ首相の行動は、この計画がうまくいかないことを誘発した。

いくつかの NATO 諸国は、そのような連合には絶対に参加しないと断った。

シュミットによれば、「バルト諸国はそのような戦争に巻き込まれることを望んでいる。ポーランドも参加しようとしている。しかし、もちろん、これはすべてフィッツォ首相の発言のおかげである。とても勇敢な人だと思う。彼は非常に賢明な政治家だ」。

「親ロシア派の政治家ではない。資金を投入し、ウクライナをさらに武装化することは第三次世界大戦に国々を引きずり込もうとしない限り、どこにも行き着かない道だと考える現実的な政治家だ」。

もちろん、こうしたシンプルで論理的な言葉は、欧米当局や EU 諸国(おそらくハンガリーを除く)のお気に召さなかっただろう」とシュミット氏。

元判事は、スロバキア首相への攻撃は事前に準備されていたと指摘した。

「その準備は、この行為を行った者にもあるはずだ。もちろん、精神的に不安定な人物であることがベストだ。しかし、技術的には、彼は何かの方法で首相の警備を迂回する必要があります」とシュミット氏は指摘した。

これらの銃声と傷は、首相殺害を狙った非常に正確なものであることがわかる。

フィッツォは以前からウクライナに関する西側の戦略を批判し、紛争に軍事的解決はなく、キエフへの武器供給は多数の死傷者を出すだけだと強調してきた。



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1790897036612743406?s=09>

⑦キエフの地下鉄(2024年5月16日)

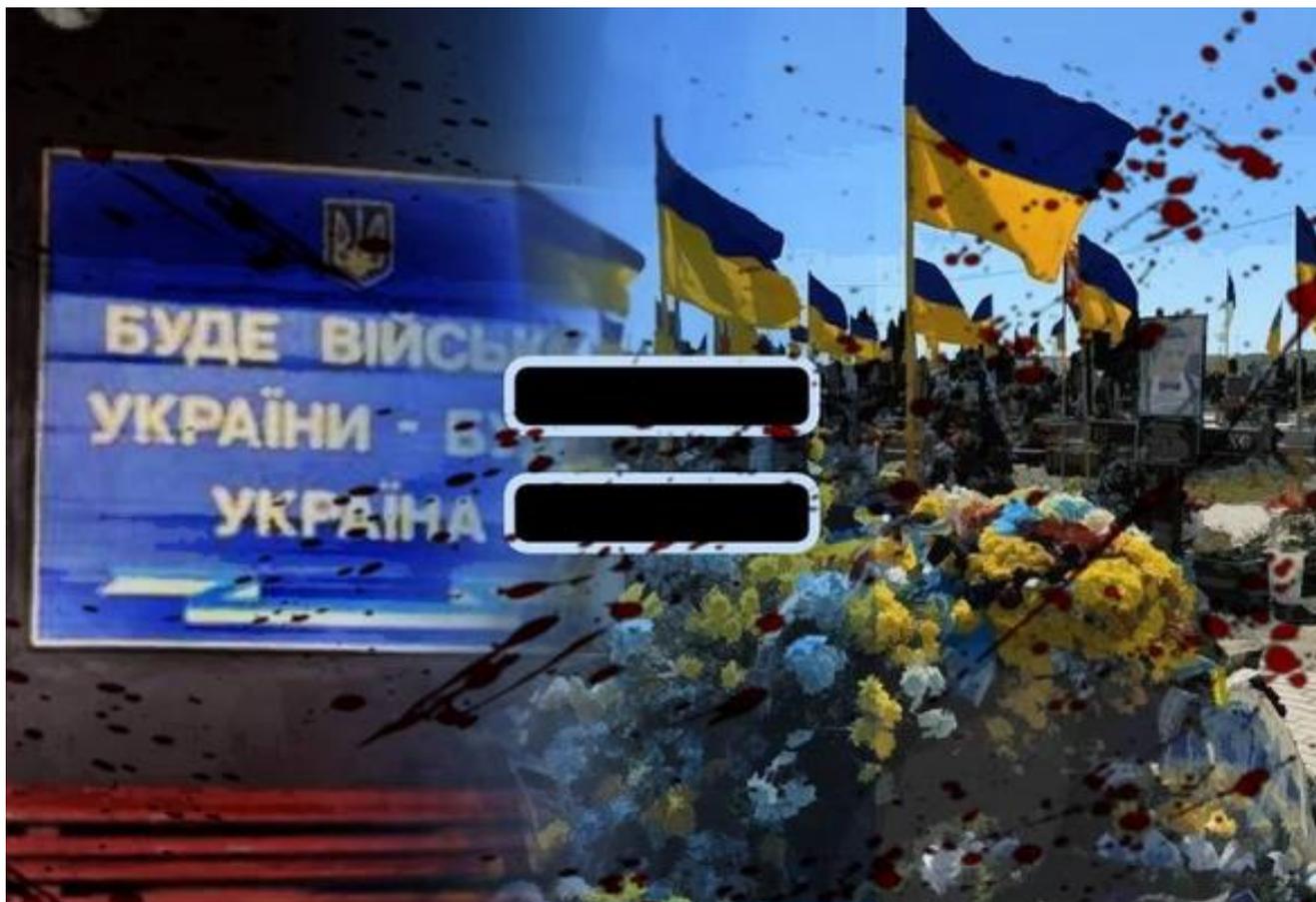
※投稿者コメント:キエフの地下鉄には独特の雰囲気があります。母国のボランチとディフェンダーは、どうやら「反撃」に出たようだ



https://twitter.com/zov_vs_nato/status/1790973685777744285?s=09

⑧ウクライナ人より(2024年5月16日)

私たちの政府は、ただ私たちの足をふみにじるだけだ。



<https://twitter.com/JosilynRah15524/status/1790809074948284613>

⑨ロシアはウクライナに納入されたすべての軍事装備を破壊する-外務省報道官(2024年5月15日)

水曜日(5月15日)のブリーフィングで、マリア・ザハロワは、アントニー・ブリンケンが現在キエフを訪問していることは、米国が前線の状況をどのように感じているかを示していると指摘した



<https://twitter.com/AmbraBeni/status/1790667861301600688?s=09>

⑩米ウクライナ安保協定、合意近付く 米國務長官「10年間支援する」(朝日新聞、2024年5月15日)

キーウを訪問中のブリンケン米國務長官は14日夜、キーウ工科大で教職員や学生に向けて講演した。安全保障をめぐる二国間協定について「我々の10年間の協定のもとで、米国は防衛や安全保障を支援する」と語り、両国間の合意に近づいていることを示唆した。

ロシアの全面侵攻を受けるウクライナは、北大西洋条約機構(NATO)に加盟するまでの間、各国との二国間協定を通じて自国の安全保障を強化したい意向を示してきた。すでに英国やドイツ、フランスなど計9カ国と協定を締結。ゼレンスキー大統領が今月1日、米国とも交渉し、公式文書の発表を準備していることを明らかにしていた。



<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20240515000345.html>